

思い出の場所
募集中!

私たちの思い出の場所 たこやき道場 峯幸里さん

生まれ育った住吉の活性化に力を注ぐ

肉やツナマヨなど、たこ以外の具材も選べるたこ焼きを主に、お好み焼き、やきそば、そして地域活性化の一環として、長崎の郷土料理「浦上そばろ」も提供しています。

創業は1997年8月8日。現在は住吉中央公園前の路面店で営業していますが、最初は電車通りに面したビルの2階からスタートしました。目の前のテーブルで調理されたアツアツのたこ焼きをイートインできる店は、長崎では珍しかったと思います。大阪に同業態のたこ焼き店があり、それを知った母の提案で始めてはみたものの、

私自身料理は初心者だったため、経験のある弟に教わりながら仕事を覚えていきました。

また、商売を始めた頃の私は2歳と若く、アルバイトの長崎大学の学生とも年齢が近いので、仕事終わりにボウリングや食事に出かけるなど、まるで兄弟のような近い距離感で接していたと思います。もちろん上司の威厳はなかったでしょう。今となっては笑い話ですが、アルバイト学生と仕事に言い争いのケンカになり、お互いに口をきかなくなったこともありました。

その後学生とは、震災・災害支援のチャリティマルシェや住吉商店街のパトロール、店頭ワゴンセールをサポートなど、ボランティア活動を通じてお付き合いが深まった時期がありました。人のために何かをしよう。そんなふうを考え行動に移す皆さんの姿を、「素晴らしい」と感心しながら見ていたもの



アツアツ、トロトロのたこ焼きは明石焼きのように出汁(左上)に浸して食べることもできます。左下は1500年後半にポルトガル人宣教師が伝えたといわれる「浦上そばろ」。地域活性化に取り組む峯さんは「NPO法人浦上そばろ保存会」を立ち上げ、浦上そばろの普及活動にも励んでいます。



です。

残念ながらコロナ禍を境に、活動を共にする機会はめっきり減ってしまいましたので、これからまた新たなご縁が繋がればと思っています。



作り置きをせず注文を受けてから作るたこ焼き。

アンケートのご協力をお願い

以下を明記の上、広報紙Chohoへのご意見・ご感想をお寄せください。

- ①面白かった記事
- ②本紙に対するご意見・ご感想
- ③今後取り扱ってほしい内容
- ④長崎大学からの情報発信全般についてのご意見・ご感想
- ⑤本学との関係
- ⑥年齢
- ⑦氏名(ふりがな)
- ⑧郵便番号
- ⑨住所
- ⑩電話番号



◎はがき：〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学広報戦略本部 宛て

◎FAX：095-819-2156 ◎メール：kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp

◎募集期間：2025年11月末まで

読者プレゼント

アンケートにご協力いただいた皆さまの中から、抽選で10名様に、長崎大学オリジナルQUOカード(500円分)をプレゼントします。賞品の発送は2025年12月を予定しています。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



長崎大学SNSサイト



X



Facebook



Instagram



YouTube

Choho

直接送付サービス

受付中!



広報紙Chohoはその多くを、各学部同窓会様の会報誌送付の際に、直近の号のみ同封してお送りしています。そのため、読者の皆さまには必ずしも毎号お届けできないケースがあり、「前号も読みたい」、「定期送付をしてほしい」といったお声をいただいております。そこで、ご指定の住所へChohoを直送するサービスを行っています。

上記サイトへアクセスしていただき、ご登録をお願いいたします。皆さまのご利用をお待ちしております。

送付先変更のご連絡はこちらまで



編集後記

被爆された方が少なくなる中、その惨禍の記憶をいかに継承し、平和を希求する行動へとつなげていくかは大きな課題です。そこで今号では、積極的な対話と行動でその課題に応えようとする若い世代の取り組みと、静かに80年前を伝える被爆遺構や資料、追悼碑に込められた物語の二つを取り上げました。

長崎大学と広島大学のサッカー部が昨年からはじめた「Peace Match」は、若い世代が核や平和について正面から向き合い、考え、語り合う場を創出しており、新しい平和活動の姿を提示しているのでは、と感じました。一方、坂本キャンパスに数多く残る被爆遺構等には、その一つ一つに言葉にならないメッセーやストーリーが刻まれています。大学が1945年8月10日をもって講義を中止する予定だったという話を聞いた時には、わずか1日の差が多くの学生たちの運命を決めたことに胸が締め付けられずにはいらませんでした。

今、その遺構や資料の傷みが進んでいます。なんとかこれら貴重な歴史資料を後世に残したく、クラウドファンディングを企画しました。ぜひ、皆さまのご支援をお願いいたします。

なお、この度ジャパネットホールディングス様に多大なご協力とご支援を賜り、ピーススタジアム内での撮影をご承諾いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(広報戦略本部 松井史郎)